

# ウトナイ湖通信



No.231

2023年8月号

夏の自然観察路では、葉から爽やかな香りがするシソ科の植物が見られます。この植物の正体は「ハッカ」。湿った場所を好み、薄紫色の花を咲かせます。

ウトナイ湖は、周囲約 9km、面積約 275ha、平均水深約 0.6m の淡水湖です。鳥類はこれまでに約 270 種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。

## 8月のイベント情報

### お気軽ガイドウォーク in ウトナイ湖

8月13日(日) 10:30~11:30

レンジャーや当センターのボランティアが40分程、屋外でウトナイ湖の自然を案内するガイドウォークです。荒天時は館内ガイドウォークに変更します。

定員:先着10名程度

対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴)

事前申込:なし。直接当センターへ



ボランティア体験講座は、次回は9月24日(日)開催予定です。詳細は、広報とまこまい9月号およびウトナイ湖通信9月号に掲載します。

※当センターのボランティア登録は、本講座を受講いただき、登録を希望された方のみとなります。

## 市民ギャラリー

### 環境省アクティブ・レンジャー写真展 「北の自然の舞台裏」2022-2023

会期:8月1日(火)~8月31日(木) 展示:環境省

内容:環境省のアクティブ・レンジャーの舞台裏の写真展です。

北海道の豊かな自然を、写真を通して見ることができます。

## 令和5年度 野鳥絵画展

会期:8月4日(金)~8月27日(日)

展示:北海道

内容:道内の児童や生徒の皆さんが描いた素敵な野鳥の絵画が並びます。

※2階の東側(窓際)および1階展示室の東側(窓際)に展示します。

◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市植苗156-26 / 道の駅となり

開館時間:午前9時~午後5時 / 入館無料

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター

検索

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ラムートくん



~ ウトナイ湖 ~

- ・国指定鳥獣保護区特別保護地区
- ・ラムサール条約湿地
- ・東アジア・オーストラリア地域
- ・フライング・パートナーシップ

当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。



## カササギ

原因：窓ガラス衝突



保護当初は、自力で起き上がる状態ではなかった。



飛翔リハビリ時の様子

7月13日 窓ガラスに衝突し、飛べずにいたところを保護され、保護センターに搬入。搬入当初は、自力で立つことができず、横たわったままだった。安静状態にして経過観察とした。

容体は安定しており、内服薬により治療を開始。最初はふらついたり、倒れることもあったが、徐々に歩行や飛翔が可能になり、保護から一週間、リハビリがで

7月20日 きるまでに回復し、近日中リリース予定。

### カササギ（スズメ目 カラス科）

全長45cm。雌雄同色で、頭から背、胸にかけて、また上下尾筒は黒く、肩羽と腹、脇は白く、翼を尾は青緑色の強い光沢のある黒をしています。本来、国内では九州西部にのみ分布していましたが、1990年頃から北海道でも記録されるようになりました。雑食性で様々なものを食べます。

## トピックス



### 登録ボランティア研修講座「羽根標本づくり」

ボランティアの皆さんを対象にした講座を6月10日に開催しました。講師の吉沼利晃氏に教わりながら、死亡し冷凍保管していた野鳥の風切りや、雨覆いなどの羽をひとつひとつ抜いて、数字をつけて並べていく作業を1日かけて行ないました。完成したクマガラ等の8種の羽根標本は、館内に展示していますのでご覧ください。



### ボランティア体験講座で調査を体験

6月25日に、当センターのボランティア活動の一つである自然情報収集調査を、一般の方に体験いただく講座を開催しました。レンジャーやボランティアの解説をもとに、見つけた野鳥、植物、昆虫等を調査用紙に記録しました。参加後に、今後もボランティアとして活動を希望された方には登録いただきました。



## ボランティアコーナー

常に参加者の皆さんの目線になって対応されているのが印象的ですが、当センター以外でも、ボランティア活動をされていますか？

日本野鳥の会ウトナイ湖サンクチュアリネイチャーセンターサポーター、  
苫小牧市救急法赤十字奉仕団（赤十字救急法救急員）、  
しこつ湖自然体験クラブトゥレップで、ボランティア活動をしています。

ガイドをする際に、  
心がけていることは  
ありますか？

普段使っている専門用語  
や略称などを使わずに、誰  
でも分かる言葉を使うよ  
うに心がけています。

ガイドボランティアを続ける上での、やりが  
い、魅力はありますか？

ガイドする機会があると思うと、ネタ探しの  
ために出かける原動力になります。新しい発  
見をした時はどう伝えようか考えるのもワク  
ワクしますし、来てくださる方々のおかげで、  
私も自然をより楽しませてもらってます。

分かりやすく、楽しい会話を混ぜながらガイドする  
ボランティアの池田さんにインタビューしました。

【自然の楽しさを】池田 こよみ 小夜美 氏



参加者の世代にあわせて、ガイドする池田氏

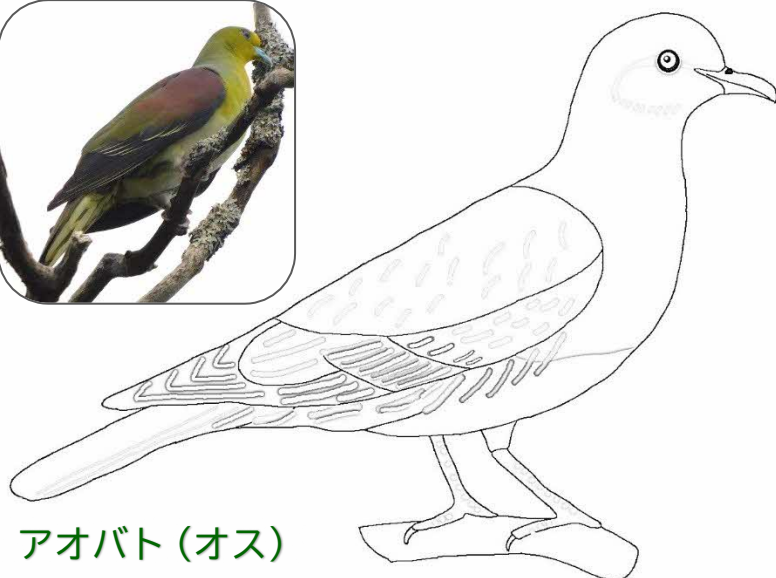
## ウトナイ湖 お楽しみコーナー

### 【ウトナイ湖・ぬりえ】

春にウトナイ湖に渡ってきて、周辺  
の林などで過ごすことがあるアオバ  
ト。黄緑色の美しい姿からは想像がで  
きない「アーオ、オア～オ～！」とい  
う不思議な声で、オスがさえずりま  
す。色のついたアオバトを見ながら、  
色をぬってみましょう♪



アオバト (オス)



公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



facebook



Twitter



# レンジャーのおすすめ自然情報



【ミヤマカラスアゲハ】  
大きさ 7~10cmほどのチョウ。翅の緑や紺色(色は角度による)の光沢が美しい。オニユリの花に來ていることがある。



【エゾミソハギ】  
高さ 50~150cm。赤紫色の花がよく目立つ。湿地や水辺を好むため、湖岸沿いのヨシの間や木道脇などに見られる。



【サワギキョウ】  
高さ 50~80cmほどで、花は紫色。湿地を好むため、湖岸沿いや木道の脇などに見られることが多い。



【ミソソバ】  
花は直径 0.7cmほどで、薄ピンク色。湖岸沿いや木道付近などに見られる。葉の形から、別名ウシノヒタイと呼ばれる。

夏に見られる植物が続々と開花します。湖岸沿いや木道付近など、冠水しやすい湿った場所には湿地の花が見られます。エゾミソハギやサワギキョウのような、高くて目立つ花もあれば、ミソソバのような足元にひっそり咲く小さな花も見られます。

チョウやトンボの仲間など、昆虫の観察も楽しめる季節です。

北海道の短い夏をお楽しみください。

※自然観察路を歩く際は虫よけ対策を。



## ウトナイ湖で自然観察を楽しもう♪

最新自然情報や、自然観察路マップはこちらから



Instagram



facebook



Twitter

## 自然観察路ガイドマップ【夏】

